

国際ロータリー第2750地区 2017-現在継続中 国際奉仕アンケート調査結果表 (2020-21年度実施)

Group	No.	クラブ名	活動	期 間	プロジェクト名	内 容 等	コロナ禍における活動状況
千代田	1	南	有	2013-継続中	ザビエル高校留学生奨学金への寄付	ミクロネシア連邦チューク州所在のザビエル高校の学生に対する奨学金制度への寄付。一般社団法人国際協力推進機構（APIC）と協力により上智大学で学生を受け入れている。	日本にいる留学生等に対する奉仕活動を主軸にする予定。
				2020-21	国連大学協力会への寄付	東京都渋谷区に所在する国連大学は、アジア地域に本部を置く唯一の国連機関であり、毎年15名～30名を主にアジア・アフリカ地域から受け入れている。将来世界のリーダーとなる学生たちの生活費等の援助として国連大学協力会に寄付を予定している。	日本にいる留学生等に対する奉仕活動を主軸にする予定。
	2	芝	実施せず				
	3	新橋	有	2009-継続中	カンボジア・アンコール地区 識字率向上プロジェクト	アンコール地区の小学校の教育水準向上支援を目的とする。同地区初の中学校の新設も支援。最近は、近隣の盲学校の宿舎にベッドや寝具を寄贈している。	コロナの蔓延はさほどでもなく、予定プロジェクトは遂行できる見込み。毎年続けてきた現地訪問は、自粛の予定。
	4	赤坂					
	5	みなと	実施せず				
	6	麻布					
	7	グローバル	有	2016-継続中	ミャンマー少数民族八角栽培支援事業	ミャンマーの少数民族の農村において、八角の実をつけるトウシキミの育苗、植樹、育樹などを支援。トウシキミはこれまでミャンマーでは栽培されていなかったが、八角栽培計画全体を立案し、地場農場をすることに より生活基盤を生み出し、就業の場を作ることを目的としている。	毎年ミャンマーを訪問して情報交換を行ってきたが、コロナ禍においては途絶している。
	8	サンライズ汐留	有	2015-16	インドネシア孤児院支援 奉仕プロジェクト	孤児院支援のためのチャリティーコンサートを実施した。集まった寄付金を基に、ジャカルタ近郊の孤児院を訪問し、寄付金や食料品・服・雑貨を寄贈し、施設の修繕工事を行った。	2020-21年度中止。
				2017-18	ミクロネシアプロジェクト（3）	ミクロネシア連邦チューク島における婦人科検診を実施した。血圧測定、尿一般検査、超音波検査、面談による啓蒙活動を行った。アジア婦人会から寄贈された母子手帳の利用状況を把握した。	
				2018-19	ミクロネシアプロジェクト（4）	ミクロネシア連邦チューク州における妊婦検診及び清掃活動プロジェクト。当日集まった妊婦に対し、エコー画面を見せながら検診を実施し、合わせて骨盤内蔵器や腎臓・肝臓等の超音波検査を実施し、卵巣嚢腫や子宮頸がん等の早期発見に努めた。更に、現地ゴミ問題への対処の一助とすべくステンレス製火ばさみ100本を寄贈し、現地夫人団体を通じて各家庭に配布した。	
				2017-18	スリランカの病院への超音波スキャナー装置一式寄付	スリランカ・ペラデニア大学病院放射線科において、放射線治療に不可欠な超音波スキャナー検査装置不足による疾病患者の受入れ、救済が少数に限られている現状を打開するため超音波スキャナー装置を大学に寄贈した。	
				2017-18	植樹プロジェクト	地球環境保全のためのロータリアン一人一本植樹運動として、インドネシアのソロのボランティア団体が行っている100万本植樹プロジェクトへの参加。	
				2019-20	母子の健康	ギニアにおけるHIV母子感染予防。	
				2019-20	疾病との闘い	スリランカにおけるがん病院設備寄贈。	
				2019-20	疾病との闘い	台湾における児童薬物からの救済。	
				2019-20	疾病との闘い	バングラデシュにおける子宮がん予防と治療。	
				2019-20	教育の支援	台湾過疎地の児童教育支援と台湾新北市における識字率向上。	
				2019-20	教育の支援 クロアチアにおけるデジタル識字率向上	クロアチアにおける300カ所の小学校生徒（1～4年生）にMicrobitの寄贈と使用研修プログラム。	
銀座・日本橋	9	銀座	有	2017-継続中	PBG学生短期東京滞在プロジェクト	PBG地域の選抜学生を約1週間を目途に東京に滞在させ都内教育施設や文化施設の視察、ロータリアンとの交流を通じ様々な環境下にある若者の視野の拡大及び優秀なリーダーの輩出を支援する。	コロナ禍の出国制限継続につき開催は困難。必要な準備は進めておき、実施可能になればすぐに実行できる体制を維持。代替となる教育支援策も検討する。案として選抜された学生を対象とするリモート学習や教材の郵送など。
				2017-継続中	バラオ・ミクロネシア支援合同プロジェクト	リュウマチ熱心臓疾患の診断に必要なエコー診断器や小学校への遊具施設及び体育教育用具の提供。	2020/11/12第1回合同会議参加。
	10	日本橋	有	1999-2018	スーダンにおける感染症対策支援	NPO難民を助ける会を通じて、スーダンにおける感染症対策の寄付を行う。コンボにセーターを届ける活動から、ザンビアへの蚊帳購入資金援助、ミャンマー（ヤンゴン）の障がい者への職業訓練・就労支援と使途変更しながら支援を継続してきた。	
				2018-継続中	タンザニア・ポレボレクラブへの支援	森林減少の続く東アフリカのタンザニアで植林活動を支援しているタンザニア・ポレボレクラブへ支援。クラブ内の古本、書き損じはがき、未使用・使用済みの切手やCDを寄付金と共に送っている。	例年同様、古本、書き存じはがき、使用済切手、寄付金などを集める予定。
				2019	ベトナムの障がいのある子供たち向けの図書館の設置と寄付・贈呈式の開催と参加	図書、本棚、机、時計、図書室に必要な器具、施工工事などを支援・寄贈し、ベトナムの障がいのある子供たちに自主学习できる環境の整備・教育支援を行っている。	「ベトナム交流会」が主となり学生の教育支援のみ継続。
				2020-21	海を渡った古伊万里～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～	日本・オーストラリア友好150周年記念行事として企画された「古伊万里再生プロジェクト」への協賛・サポート。日本文化を海外にアピールするためウィーンにて展覧会を開催する計画を援助する。	感染予防ガイドラインを遵守の上、大倉集古館にて本展覧会を開催中（2020年12月現在）
	11	築地	有	2017-18	ヒマラヤ小学校給食支援プロジェクト	現地小学校に給食を提供し、児童の栄養状態を改善すると共に、学校への登校を促進することによって教育水準を向上させる。	現地への訪問ができない状況。
				2017-19	バラオ・ミクロネシア医療・教育支援プロジェクト	肥満予防・治療対策、リュウマチ性心臓疾患の検査器具の提供、プレイグラウンドの設置等。	現地への訪問ができない状況。

国際ロータリー第2750地区 2017-現在継続中 国際奉仕アンケート調査結果表 (2020-21年度実施)

Group	No.	クラブ名	活動	期 間	プロジェクト名	内 容 等	コロナ禍における活動状況
銀座・日本橋	12	日本橋東					
	13	中央	有	2017-継続中	パラオ・ミクロネシア支援合同プロジェクト	2750地区であるパラオRC及びボンベイRCからの支援の要請に基づき、肥満予防とその教育（パラオRC）、風土病であるリュウマチ性心臓疾患の予防（ボンベイRC）に貢献する活動。小学校へのプレイグラウンドの設置、食生活の改善を実施している。また、検査器具を贈呈し、子供たちの罹患者の早期発見に努めている。地区内クラブ合同プロジェクト。	PBGにおける観光産業は大きな痛手を受けており、経済的にクラブの存続自体危ぶまれている。支援内容を把握し、経済的な支援が必要と考えている。
				2012-継続中	カンボジア教師育成支援プロジェクト	カンボジア教員養成校に日本の経験豊かな教師を約1年間派遣し、現地の教員に教え方を指導する。また、日本から必要な教育資材を送り、これを活用して現地に合った教材開発を行うという2つの活動を通じて、カンボジアの初等育水準の向上に貢献する。地区クラブの合同プロジェクトとなっている。	現在中断、継続を検討中。
				2014-継続中	空飛ぶ車いすプロジェクト	日本で廃棄される車いすを修理して発展途上国に輸送し、必要とする各国の団体に直接引き渡す活動（東京蒲田RC・東京三鷹RC・中央大学RAC・大森学園IAC共同プロジェクト）	2020年度は中止。2021年度は、状況を鑑みベトナムハノイ障がい者協会に寄贈する予定。
				2019-継続中	フィリピン無料歯科医療奉仕プロジェクト	フィリピンの歯科治療を受け入れられない貧困層の人々に対し、日本とフィリピンの歯科医及びロータリアンが協力し、無料治療を実施している。また、日本から歯ブラシなどを持参し、子供たちにブラッシング指導を行っている。	2020年度実施は見送り。
	14	日本橋西					
	15	銀座新	有	2017-18	タイ王国中部の県にある小学校に小型浄水装置を設置	タイ王国中部の県にある小学校Ban Yan Sue Schoolに小型浄水装置を設置し、飲料・調理洗顔等に利用できる浄水を供給する。	
				2018	カンボジア教師育成支援	2名の日本人教師をプノンベンにある小学校教員養成校に派遣する。	
				2018-19	パラオ・ミクロネシア支援プロジェクト	パラオ共和国へは肥満防止支援。ミクロネシア連邦へはリュウマチ性心臓疾患検査機器購入による医療支援。	
				2020-21	ベシャワール（アフガニスタン養蜂活動）支援	故中村哲医師がアフガニスタンの住民65万人のために活動してきた事業である灌漑・農業に感銘し、ベシャワール会への寄付を通じて、自給自足が可能な農村の回復のために協力をする。	
				2019	ヒマラヤ給食支援事業	ヒマラヤの子供たちへの栄養補給と地域における農業・食育の支援。	
	16	シティ日本橋					
	17	中央新	有	2017-継続中	パラオ・ミクロネシア支援合同プロジェクト	2750地区であるパラオRC及びボンベイRCからの支援の要請に基づき、子供たちの肥満予防のための小学校への遊具の設置、食生活の改善を実施する。パラオの3つの小学校に遊具を設置し、ボンベイにはリュウマチ性心臓疾患検査用エコー診断器具を4台、小学校体育用具を支援。グアムでは病院船の燃料支援を行った。	
	18	あけぼの					
	19	山王					
京 浜	20	羽田					
	21	品川	有	2016-継続中	パラオミクロネシアへの医療・教育支援プロジェクト	パラオについて糖尿病等の合併症を引き起こす病的肥満の予防対策として、子供たちを対象として食の改善と遊具の設置をする。ボンベイでは子供たちのリュウマチ性心臓疾患の罹患率が高いため、検査器具の贈呈を行う。	日本国内における報告会・会議を開催。
	22	大森	有	2019-20	はちどりプロジェクト支援	2012年にカンボジアのプレクション村に「ハチドリスクール」を設立した。2014年、村に紙すき産業を興し、ポストカード・名刺の製造販売を支援。2019年米ぬかを使ったオーガニック石鹸の生産に必要な米ぬかを除く脱穀機を寄贈した。2020-21年度は脱穀機の電力となる発電機の寄贈を予定している。	行き来ができないので、村民が作った物、ポストカード、米ぬかで作った石鹸、はちどりグッズ等を購入して、販売。
	23	品川中央					
	24	田園調布	有	2012-継続中	ケニア水プロジェクト	日本の伝統的な上総堀りの技術を使って井戸を掘るとともに、技術の移転を図っている。きれいな水子供たちに供給したことで、子供たちの死亡率が大幅に下がり、子供たちや女性が日々の重労働から解放され定住が可能となり、子供たちが学校で教育を受けることが可能となった。	
	25	港南マリーン					
	26	大崎	有	2020-継続中	タイ支援プロジェクト	2015年より毎年継続している支援プロジェクト。タイ農村部の学校に対するトイレ、コロナ対策衛生改善、子供たちの健康促進、新型コロナウイルスの感染予防、子供たちのしつけ育成を支援。2017-18年度はサイクル自転車贈呈、2018-19年度は小学校に浄水器設置、2019-20年度は図書支援（移動図書館）、2020-21年度は小学校のトイレ及び洗面所の修繕を行う予定。	
	27	蒲田	有	2017-18	ボルネオ島植樹プロジェクト	京浜グループ6クラブが植樹用の資金を出し合い、ボルネオ島サバル森林保護区にて熱帯雨林再生植樹活動を先住民族とサラワク森林局担当係官の指導の下行った。6クラブ合計2283本の植樹を行う。	
	28	京浜					
	29	田園調布緑					
	30	白金					

国際ロータリー第2750地区 2017-現在継続中 国際奉仕アンケート調査結果表 (2020-21年度実施)

Group	No.	クラブ名	活動	期 間	プロジェクト名	内 容 等	コロナ禍における活動状況
京 浜	31	高輪	有	2018-19	イヌマキ植樹プロジェクト	地球温暖化対策として大気汚染や潮風に強く、日陰にも強いイヌマキを植樹することにより、台風や干ばつの被害や災害から守り、環境保全や美化にも貢献する。	
				2017-18	ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト	ボルネオ島に100本植林。長年羽田RCが進めているボルネオ島の熱帯雨林再生植林活動に賛同し、京浜グループによる植林を実施。羽田RC、大森RC、蒲田RC、田園調布RC、白金RCと参加。合計6.7haに2,283本植林。	
山 の 手 東	32	西	有	2000-継続中	カンボジア小学校支援	現地の英語・PC教師の人件費、給食用菜園維持費、施設メンテナンス費用などを助成する。	現地のコロナ禍の社会活動、経済状況報告などを受ける機会を得て、現地支援の必要性を再認識する。
				2017-継続中	桜の植樹事業	姉妹クラブであるシカゴRCとの友好の証としての事業。ロータリー国際大会開催地に桜植樹を行う。初年度ハンプルグ、2年次ホノルル（国際大会中止によりコロナウィルス犠牲者及びコロナウィルス撲滅のために活躍している人々への植樹）、3年次台北、最終年次ヒューストン予定。	直接会えずともロータリー精神に則り、コロナウィルス犠牲者及びコロナウィルス撲滅従事者のため、事業継続を行う。
				2015-継続中	ガールズビーアンピシャス	カンボジアの女生徒3名分の就学するための金銭的支援を行う。	
	33	城西	有	2013-2020	カンボジア国際奉仕	2013年に合計50基の井戸を掘削。2017年に医療奉仕活動団体に車両の維持補修費用の支援。2020年には井戸のメンテナンス、タンク井戸、トイレ、文房具等学習用品の寄贈を行う。	カンボジアも休校であったため、オンラインでの情報交換に限られる。
	34	西南					
	35	原宿					
	36	杉並					
	37	神宮					
	38	恵比寿	有	2013-2020	ネパール灌漑用水建設プロジェクト	ネパール・パルパ県の3地域に小規模の灌漑用水を設置し、農作物の収穫量の増大、新しい作物の育成にトライし、農家の所得を増やす。灌漑用水は完成。	灌漑用水は完成。教育が遅れた。日本からの現地視察も延期状態。
	39	広尾	有	2008-継続中	ケニア水プロジェクト	ケニアの井戸掘りを支援し、安全な飲料水を確保する。安全な飲料水を確保することにより公衆衛生が向上する。水汲み作業から解放されることにより、子供たちが学校に通う時間を持つことができ、識字率の向上につながる。	
				2020-21	東京GGプロジェクト	COVID-19が世界中で蔓延する中、シカゴのNapervilleRCとの連携で愛育病院・国際福祉大学成田病院へ医療用ガウンを寄贈する。	2021年1月に寄贈し、2月に贈呈式を行った。
				2020-21	シカゴiPadプロジェクト	COVID-19で家族と面会できなくなっている患者が家族と遠隔で面会できるようシカゴ近郊の介護施設にiPadを寄贈する。	6450地区、6440地区の諸クラブと東京広尾RC、クロアチアのRCによる合同プロジェクトで予算規模800万円の大規模プロジェクトとなり281個のiPadが約76の介護施設に寄贈された。
	40	渋谷	有	2010-2020	カンボジア教師育成プロジェクト	カンボジアの教員養成校の教師に、算数と理科を教える方法、実験器具の使い方なども指導する。併せて実験で使用する器具、文房具などを寄付する。	プロジェクト終盤に差し掛かり、コロナによりスローダウン。10年という区切りもあり、終了するきっかけになった。
	41	六本木					
	42	愛宕	有	2017-18	東北視覚支援学校支援プロジェクト	震災の際に東北のロータリークラブに世界中から様々な支援や留学等の斡旋があったが、障がい者への支援は皆無だった。そこで、視覚支援学校の生徒を支援するプロジェクトを行う。ホノルルサンライズRCの夏季キャンプに招待し、ホームステイや視覚支援学校の視察を行った。	渡航できない為、再開を模索中。
山 の 手 西	43	世田谷					
	44	目黒					
	45	成城					
	46	世田谷南	有	2010-継続中	日韓短期青少年派遣（留学）PROJECT	毎年交互に青少年（小学校高学年から中学生）を相手国に短期派遣（1～2週間）し、お互いの文化に触れ相互理解を深める。	2020年の派遣は中止。
				2018-2019	ネパールチューダ中学への教育支援	ネパールチューダ中学は、過去の地震のため校舎が棄損された。校舎の窓ガラス、ドア等の復旧、並びに教育支援を行った。	一時中断
				2020-21	ミャンマーMSM国際女子学院教育支援	同学園では日本語教育を行っているが日本語の教科書が高価で購入できないという現状を把握し、日本語教育の更なる円滑化、また日本に興味を持つ若手人材育成のため、総予算60万円で日本語教科書及び医療機器を贈呈する予定。	地区補助金は本年度申請、認可取得済。贈呈する目録作成、合意済。2021年春に現地にて贈呈する予定。
	47	城南					
	48	山の手					
	49	成城新					
	50	青山					
	51	自由が丘					
	52	米山友愛					

国際ロータリー第2750地区 2017-現在継続中 国際奉仕アンケート調査結果表 (2020-21年度実施)

Group	No.	クラブ名	活動	期 間	プロジェクト名	内 容 等	コロナ禍における活動状況
山 の 手 西	53	米山ロータリー Eクラブ2750	有	2017-継続中	南カリフォルニアにおける青少年に対する平和教育プロジェクト	ロス南西部に位置するパロス・ベルデス・ベニンスラ高校に在籍する500名の高校生を対象とする、歴史から平和の重要性を認識し、平和構築の為にリーダーを育てようとするプログラム。授業の中で、ヒロシマ・ナガサキの被爆者や第二次世界大戦中強制収容された日系人から証言を聞き、紛争や戦争体験者の詩や書物から平和の大切さを学ぶ。この活動は、被ばく日米ロータリアン合同奉仕プロジェクトであるHeiwa Rotary Hiroshima Survivor Treesの活動の一部。	実施対象の高校とロータリアンとの協議の結果、Rotary Model UN Peace Conferenceの開催はオンラインでなく、直接参集を希望しているので、活動延期中。
				2014-継続中	ミャンマー教育支援プロジェクト	東京米山友愛RC及びミャンマー学友会合同プロジェクトでミャンマーの日本語学校で学ぶ学習者を対象に、日本語学習及び異文化理解、国際交流の促進を目的としたプロジェクト。当クラブ会員とミャンマー学友会の手作りによる日本語情報新聞を毎年定期的に発行している。発行した新聞はミャンマー学友会を通じ、ミャンマー在住の日本語学習者に渡している。	コロナにより次号の日本語情報新聞「ミンガラバーミャンマー From Japan」の完成まで時間がかかっている。第14号は2020年内に完成予定。
				2018-継続中	ネパール教育支援プロジェクト	経済的な理由で学習機会に恵まれない子供たちの教育支援を目的に奨学金制度を設立。現在5名の子供たちをサポートしており、年間一人当たり12万円を支出している。	ネパール都心部の学校はオンライン授業に切り替えている。本奨学金対象の児童は、設備環境や親の収入減等の理由でスムーズに教育が受けられていない現状。新たな奨学生選定や継続審査も現地との連携が取れていなく難しい。
				2019-20	SDGsに向けて――青少年環境教育プロジェクト	中国の地元の高校生たちが日系優良企業である富士ゼロックス蘇州資源循環工場を見学し、社会学習することで、環境への取り組みと大切さを再認識するプロジェクト。今回の学習では国連のSDGやSustainabilityテーマについて学習する。	
	54	代官山					
多 摩 南	55	八王子	有	2018-23	青少年の為にS.L.P (Social Leadership Program)	東京都八王子所在の工学院大学付属高校の1年生204名を対象に、国際奉仕について学ぶプログラムを提供する。当クラブ会員が講義を行うと同時に国際奉仕を学ぶシュミレーションプログラムや国際ロータリーとは違った観点から国際奉仕を行うNPO法人及び青少年育成事業等に取り組む4団体のNPO法人の協力を得てワークショップや講話を行う。	3密を避け、大教室にソーシャルディスタンスを取り、マスク着用、検温、手洗いの上、実施。
	56	町田					
	57	日野					
	58	八王子西	有	2019-22	タイ王国における浄水器設置事業	タイ・ノンケームRCと連携し、幼稚園及び小学校に浄水器を設置。現地の水質検査や学校長や役所等の聞き取り、浄水器設置業者の選定と設置後の定期的な聞き取り調査まで行う。	浄水器の設置先を視察する予定であったが、不可能となったため、設置先の決定はノンケームロータリークラブに一任。
	59	町田・中					
	60	八王子東					
	61	八王子南					
	62	町田サルビア					
	63	飛火野	実施せず				
	64	町田東	有	2015-継続中	空飛ぶ上履きプロジェクト	日本国内で使用済（きれいなもの）を回収し、フィリピンのロータリークラブを通じて子供たちに支給する。	継続を検討。
	65	八王子北					
多 摩 中	66	立川	有	2019-20	モンゴル共和国・新モンゴル学園へ図書を寄贈	モンゴルのモンゴル学園に書籍を寄贈し、知識向上、学力向上に貢献する。	本年度の実施はできていない。寄贈（送金等）は準備が整えば実施予定。
	67	小金井					
	68	国分寺	有	2010-20	カンボジア教育支援プロジェクト	カンボジアの教育者育成のための活動資金援助。	今年度でプロジェクト自体が終了する報告あり。
	69	三鷹					
	70	昭島					
	71	国立					
	72	立川こぶし					
	73	井の頭	有	2010-19	カンボジア教師育成支援合同プロジェクト	毎年カンボジアの教師を育成するための日本人教師2名・教育資材と共に支援する。世田谷RCを中心とする合同プロジェクトで、当クラブは2014年から2018年まで参加した。	
	74	昭島中央					
	75	武蔵国分寺					
	76	小金井さくら					
	77	国立白うめ					
	78	ピースウィングEクラブ					

国際ロータリー第2750地区 2017-現在継続中 国際奉仕アンケート調査結果表（2020-21年度実施）							
Group	No.	クラブ名	活動	期 間	プロジェクト名	内 容 等	コロナ禍における活動状況
多摩東	79	府中	有	2018	府中市給食用食器リ・ユース事業	府中市の給食センター新設に伴い、廃棄となる旧給食センターで不要となった約11万3千点の食器をフィリピン国ベンゲット州のフィーディングプログラムを実施している小中学校に寄贈した。	通常の国際奉仕活動もままならず、新たな活動目標を全く手つかずの状態で、何ができるか模索中。
	80	調布	有	2013-23	タイ国ドゥアン・プラティーブ財団教育里親制度を利用した教育支援	タイ国ドゥアン・プラティーブ財団が選定した中学生6名を対象として、高校を卒業するまでの6年間継続的に教育費用を支援する。2018-19年度に継続支援の依頼があり、学生2名、支援機関4年間の支援を実行。	ドゥアン・プラティーブ財団よりスラム地域の新型コロナ感染症対策についてのメールを受け、会員からの寄付とクラブ拠出金とを併せ2020年6月送金。
	81	多摩					
	82	狛江	有	2017-20	カンボジア教師育成支援プロジェクト	カンボジアの教師が質の高い授業が実践できるよう、日本の算数・理科の教育システムを教師育成学校に移植する。	
	83	稲城					
	84	武蔵府中	有	2009-継続中	府中国際交流サロン「日本語学習発表会」への支援	府中国際交流サロンで日本語を勉強する外国人に対し、日本語学習の成果を発表する機会を与え、学習意欲向上に貢献するとともに、手弁当でサポートしているボランティアの先生方を支援する。	毎年実施している日本語学習発表会も2月に実施する予定であったが、実施できるかは現時点で不明。
				2017-継続中	パラオ・ミクロネシア支援合同プロジェクト	パシフィック・ベイスン・グループへの医療その他の支援活動「医療器具援助・食生活の改善・運動させる環境作り（グラウンドの子供の遊び場の設営）」	コロナ禍の影響によりミーティングの機会が少なく、今年度の決定事項はまだない。11/21にミーティング実施。次回1/26予定。
				2013-継続中	ケニア水支援プロジェクト	安全な飲料水を必要としている現地の方のために、日本伝統の上総掘りという手法で井戸を掘り、その技術を伝承する。	コロナ以前の問題として、先方国（ケニア）の体制に問題がある模様。
	85	たまがわ		2020	クリスマス・ドロップ作戦	マリアナ諸島やミクロネシア、パラオの56の島の島民2万人に対して米空軍のボランティアが空中から援助物資を投下する。1952年から毎年12月に行われており、箱の中にはおもちゃ、衣料、釣り道具、スポーツ用品、食料品、ツールなど暮らしを助ける備品が入っている。日本のRCがグアムに赴きプレゼント贈呈、箱詰めの手伝いを行う。	ロックダウンなどでグアムに行き箱詰めができなかったため、寄付で奉仕。
	86	多摩グリーン					
	87	調布むらさき	有	2020	メキシコ公立小学校への電子黒板の寄贈	メキシコ在住でホストクラブとして縁のある元グローバル奨学生に現地RCや寄贈先の小学校との調整を担ってもらい、電子黒板を寄贈する。	2月に贈呈式を実施予定。
	88	iシティ					
P B	89	Guam					
	90	Saipan					
	91	Tumon Bay					
	92	Northern Guam					
	93	Pohnpei					
	94	Palau					
	95	Guam Sunrise					
	96	Truk Lagoon					
	97	E-Club of Pago Bay Guam					